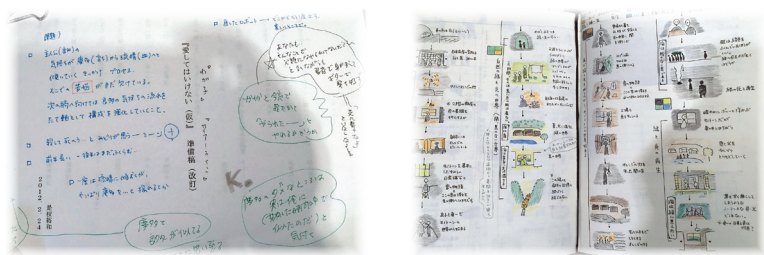


ここが見どころ

海よりもまだ深く×是枝裕和展

その1 是枝氏の経歴紹介・展示コーナー

是枝氏のこれまでの経歴紹介パネルや過去作品のポスターなどを展示します。また、過去作品の構成時に使用した貴重なノートも展示する予定です。



作品の構成時などに使用したノートやメモ
※実際の展示物と異なる場合があります。

その3 是枝氏が住んでいたころの清瀬の様子を紹介

是枝氏は、9歳から28歳（昭和47年から平成元年）まで清瀬市の旭が丘団地に住んでいました。

当時の清瀬市はどのような様子だったのか、写真で振り返ります。



建設直後の旭が丘団地



昭和47年の清瀬駅

「海よりもまだ深く」関連事業

市では、「海よりもまだ深く」公開を記念して、下記の関連事業を行っています。さまざまな形で、「海よりもまだ深く」をお楽しみください。

「海よりもまだ深く」ブックカバーを配布中

飯田書店（松山一丁目）・ブックスいいだ（クレアビル4階）で文庫本をお買い上げいただいた方（希望者）に、「海よりもまだ深く」のブックカバーをお付けしています。



映画鑑賞割引券付き! ロケ地周辺マップを配布中

市内各公共施設など配布している「ロケ地周辺マップ」



「海よりもまだ深く」のロケ地を紹介した「ロケ地周辺マップ」を、市内各公共施設で配布しています。ロケ地周辺マップを片手に、映画のシーンを思い出しながらロケ地巡りをしてみてはいかがでしょうか。清瀬市民限定の割引券付きです。※好評に付き、公共施設によっては品切れになっている場合があります。

「海よりもまだ深く×是枝裕和展」アンコールパネル展を開催

6月21日（火）より、「海よりもまだ深く×是枝裕和展」で飾られたパネルの一部を、クレアギャラリーにて展示します。

日時 6月21日（火）～26日（日）午前9時～午後9時

場所 クレアギャラリー（クレアビル4階）



5月に開催していた第1回パネル展

その2 「海よりもまだ深く」コーナー

「海よりもまだ深く」の各シーンのパネル展示や、メイキング映像を上映。また、撮影に使われた小道具や衣装、画コンテなども展示します。



台風の夜にひとつ屋根の下、一緒になった元家族

母・淑子の元を訪れる娘・千奈津



「海よりもまだ深く」©(C)2016 ワジテレビジョン パンダイビジュアル AOI-Pro. ギャグ

「海よりもまだ深く×是枝裕和展」概要

日時 6月4日（土）～19日（日）午前9時～午後5時（月曜休館・入場無料）

場所 郷土博物館

※直接会場へ。駐車場に限りがありますので、公共交通機関をご利用ください。

問合せ 郷土博物館 ☎ 493・8585

「海よりもまだ深く」を観て ～清瀬市民の感想～

清瀬市が舞台となった「海よりもまだ深く」。清瀬市民の方は、実際に映画を観てどのような感想を持ったのでしょうか。市民編集委員の片寄明香さんに伺いました。

現在の自分の人生を受け入れることができず、いつまでも夢を見続け、墮落した生活を送る主人公・良多（阿部寛）。母・淑子（樹木希林）が、今の状況のなかで幸せになる努力をしない息子にやさしい口調で掛ける言葉が、是枝監督の思いとして伝わってくるような気がしました。映画のなかには印象に残る台詞が随所に散りばめられ、ただストーリーを追っているだけではなく、観ている側へのメッセージとして心に響きます。

1967年に入居が開始された旭が丘団地が、舞台の中心です。そして、今は取り壊されましたが、野塩団地内の公園にあったタコの滑り台が同じ団地の一部として描かれています。

当時、団地は憧れの集合住宅でした。それから約50年の時が経ち、住民の方の高齢化や建

物の老朽化が目立ちはじめ、団地が抱える現状の問題がそのまま登場人物の「こんなはずじゃなかった」という人生と重なっているようです。

撮影当時は市内あちこちでロケが行われていたため、見学された方も多くいると思います。私も噂を聞きつけ、撮影を見に行った一人なので、映画上映開始を心待ちにしていました。

実際に作品には見慣れた市内の風景やお店が映し出されていたので、映画を2倍楽しむことができました。

市内公共施設では「ロケ地周辺マップ」を配布しているとのことなので、映画のワンシーンを思い出しながらのロケ地巡りや、郷土博物館の「是枝裕和展」を通じて、新たな清瀬の魅力も発見してみたいと思います。

（文：片寄明香）